中央ビル管理

オーナー向けサイト『ポラスの賃貸経営パートナーズ』開設

「空室が多くて困っている」などオーナーが抱える問題点を具体的に表示

中央ビル管理（埼玉県越谷市）は賃貸住宅オーナー向けサイト『ポラスの賃貸経営パートナーズ』を4月2日にオープンした。

▲自分が抱える問題点の解決内容が明確に分かる

「空室対策が必要なのか、自主管理が手に負えなくなったのか、オーナー自身が、賃貸経営をする中で現状どういった悩みを抱えているのか、具体的な解決方法がみつかるようにトップ画面に表示しました」（萱沼範行氏）と話すように、オーナーが抱える問題点の事例を挙げ、その解決に至る道筋を紹介している。

サービス内容を全面的に紹介しているホームページは他にもあるが、詳細がわかりにくい場合もある。『ポラスの賃貸経営パートナーズ』では具体的な悩みを事例に挙げることで、同社が解決方法をオーナーに提案できる強みをアピールしたかたちだ。

『事例・ケーススタディ』では、お悩み解決事例として「空室が多くて困っている」「転勤の間だけ家を貸したい」「自主管理が面倒になった」「建物老朽化で入居率悪化」と具体的にオーナーから問い合わせが多い〝悩み〟をそれぞれ表示。

例えば、空室で悩む事例の場合イラストをクリックすれば、実際にオーナーから相談があった案件をもとにポータルサイトへの掲載対策、周辺賃料相場の説明など提案内容を細かく記載、どのようにして満室に至ったのかがホームページで確認できる。同社はグループに建設、リフォームを専門とするポラスグランテック（埼玉県越谷市）と連携しているため、トータルプロデュースで建物が見直せるプロセスが構築できるのも同社の強みだ。

『あなたのパートナー』の項目では20営業所の管理・仲介店舗を掲載。「どんな社員が仲介をしてくれているのか」と一度は考えるオーナーもいるだろう。サイトの「店舗情報」をクリックすれば各店の『Room・Spot』のホームページに移動、店舗で働く従業員一人一人がプロフィールとともに写真付きで紹介されている。これもオーナーとの信頼関係を重視する同社ならではの働きかけといえる。

さらに注目したいのは『賃貸管理実績データ集』のコンテンツ。ここでは同社の成績表ともいえる現在の管理戸数、来店客の組数、新規賃貸借契約件数など各店から集約した数字を発表。総管理戸数、売上高推移など業績の「見える化」も積極的に表示している。

「実際の声をリアルに反映する、具体的な数字を出す、この考え方を尊重してサイトを構築していきたいと思っています」（萱沼氏）

同社では今後、管理会社向けポータルサイトへの出稿やSEO対策、また6月10日に開催するオーナーセミナーなどを踏まえて、認知度向上に努めていく。

静和YBJ

静和YBJキッチン事業部（東京都品川区）は賃貸住宅向け、自分ツである扉や引き出し、キッチンカウンターを取り付け完成させる。一連の流れでもおよそ30分あれば一人で持てるものでは

◀壁や床に直接施工できる

でも約60kgとても一人

Deto

人気の賃貸物件